

タヌキに化かされた?!



タヌキの剥製

「ほっとやまはく」 タイム⑥⑦

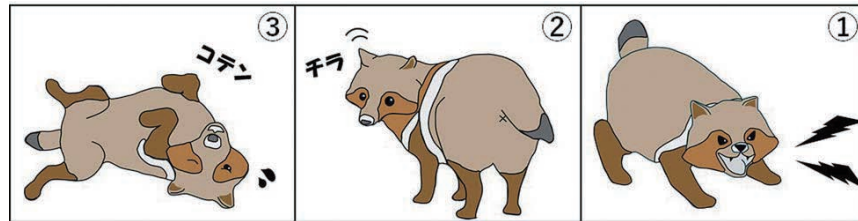


ぼんぼこタヌキ

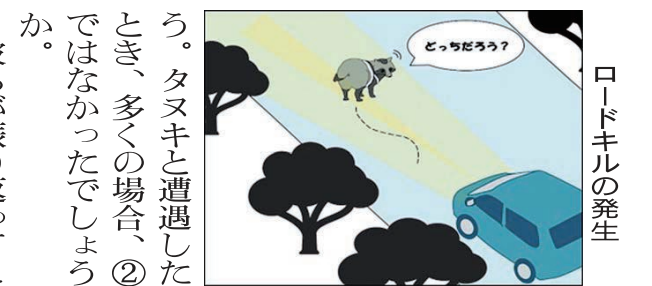
タヌキは人里近くの山林に生息する獣です。人との距離が近いということは、それだけ目にする機会が多いということであり、童話や昔話などにもたびたび登場します。皆さんはタヌキのイメージは？ と聞かれたらどのように答えるでしょうか。シカやツル、カメなどに比べ、ちよつと低俗でずる賢くて、人間をだますような印象を持つ方もいるでしょう。なぜタヌキはそんな印象を持たれるのでしょうか。それは彼らと遭遇した時のシチュエーションにヒントがあります。

動物三択クイズ

人里近くで生息する動物にとって、やはり人間の存在は脅威です。人間に捕まえられないように、一定の距離を取りたがるのは、野生動物として当然のことです。それではここでタヌキと遭遇した経験のある皆さんにク



タヌキに遭遇したときのシチュエーションは？



ロードキルの発生

う。タヌキと遭遇したとき、多くの場合、②ではなかったでしょうか。

彼らが振り返ってこちらを見詰めてくるのは、決して人間にシャッターチャンスを与えてくれているわけではなく、人間が動いた方とは逆の方向に逃げようとしているからと言われている。人間が右の方に回り込もうとしたら、左のやぶに飛び込むという作戦です。このとき、人間とタヌキの間で見詰め合う時間が十数秒発生します。この時に、「もしかしてタヌキは何か自分に伝えたいことがあるのではないか？」と人間は勝手に受け取ってしまうのです。振り返るしぐさは、頭の悪い彼らが確実に逃げ切るための行動ですが、顔に目尻が下がるような模様が有り、上目遣いなのも相まって、あたかも困っているような表情に見えるくもありません。もしかししたら助けを求めているのかも知れない。後をついて行くとお宝が眠っている場所に案内してくれるのかもしれない。そうこう考えながら、時は過ぎ、いつの間にかタヌキ自身も姿を消している。これが化かされたと感じるからくりだと私は思っています。つまり人間側の被害妄想なのかもしれません。実際のところ、タヌキに限らず、振り返ってこちらの出方をうかがう動物は他にもいま

す。とりわけタヌキがそのような印象を持たれるのは、やはり人間との距離が近いからでしょう。

運転時は気を付けて
ただし、この行動がロードキルの発生につながっている可能性が有ります。ロードキルとは車両にひかれるなど、道路上で起こる野生動物の死亡事故のことです。道路を横断しようとしたタヌキは、車両に対しても一度立ち止まり様子を見ようとし、路上で足を止めてしまうのは命取りですが、タヌキは1トもある金属の塊が時速数十kmで一直線に向かってくるとは思ってもいません。ヘッドライトでまぶしいと、なおさら何か分からず、様子を見るしかありません。自動車が普及したこの数十年間で、彼らの遺伝子に組み込まれた行動が変わるはずもないでしょう。われわれ人間ができることは、彼らが避けてくれると思わず、車を減速させタヌキを回避するしかありません。今度タヌキと遭遇した場合は、人間社会との距離が近い動物ならではの受難の中で頑張っている彼らを、優しく見守ってあげてください。

大森鑑能（動物担当学芸員）
▽次回は7月10日です。

山口県立山口博物館
TEL083-922-0294
月曜休館（祝日の場合は翌日）。最新情報はホームページで。

